



## 令和5年度 大阪しあわせネットワーク 事業報告書

### 1. 令和5年度の概要

大阪府社会福祉協議会ならびに社会福祉施設経営者部会・各施設種別部会では、昨今の社会経済情勢の変化等により顕在化してきた“制度の狭間”の課題への対応や、改めて問われている社会福祉法人のあり方をめぐる議論に“社会福祉法人の使命”として応えるため、これまで大阪で取り組まれてきた実践をさらに発展し、社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を「大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）」として、平成27年度から推進している。

令和5年度は、この間の新型コロナウイルスによる失業や減収、さらに物価高騰による生活費逼迫といった影響が全年齢層にみられた中、市町村社協や関係機関とも十分に連携し、迅速かつ適切な相談支援とネットワークを活かした取り組みを推進してきた。また「大阪しあわせネットワークあり方検討委員会」報告書（令和3年3月）を具体化し、今後の安定かつ発展・持続可能な事業展開をめざすため、社会貢献基金運営委員会検討チームを設置し、検討を行った。さらに、府域の大阪しあわせネットワークと市区町村域の地域貢献委員会などの実践を重層的包括的に推進し、ネットワークの強化を図るため、「市区町村域しあわせネットワーク活動支援事業」を実施するとともに、施設間の連携を強化するため、支援システムに新たに地域貢献委員会の参画を整備したり、各市区町村でのCSW・スマイルサポーター連絡会の対面開催の再開や新たな地域でも開催するなど、下記の事業を展開した。

### 2. 各事業の実績

失業、介護、障がい、虐待やDVなどにより、今日・明日食べるものがない、電気・ガスが止まってしまった…など制度の狭間の生活困窮に陥った方など、様々な“生活SOS”に対応する総合生活相談事業「生活困窮者レスキュー事業」について、すべての施設種別のコミュニティソーシャルワーカーによる支援を展開している。

令和5年度の相談支援件数は、新規相談1,518件、継続相談1,070件、合計2,588件（社会貢献支援員が支援に関わった事例のみ）で、相談支援事例のうち、「経済的援助（現物給付）」による支援を行ったものは、576件47,950,356円（再支援ケース12件766,798円を含む）であった。

#### ①相談支援件数 ※下記件数は社会貢献支援員の関わった事例のみの集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	111	161	140	147	114	159	132	109	116	123	107	99	1518
継続	90	80	88	93	100	101	99	85	87	76	88	83	1070
計	201	241	228	240	214	260	231	194	203	199	195	182	2588

## ②「経済的援助（現物給付）」を行った支援件数と金額

月	件数（件）	金額（円）	月	件数（件）	金額（円）
4	44	3,426,071	10	56	4,505,580
5	45	3,398,454	11	55	5,211,080
6	47	4,022,007	12	54	4,420,623
7	54	4,611,602	1	40	3,343,291
8	53	4,597,272	2	40	3,007,506
9	43	3,842,346	3	45	3,564,524
			計	576	47,950,356

【参考】令和4年度 558件 48,049,161円

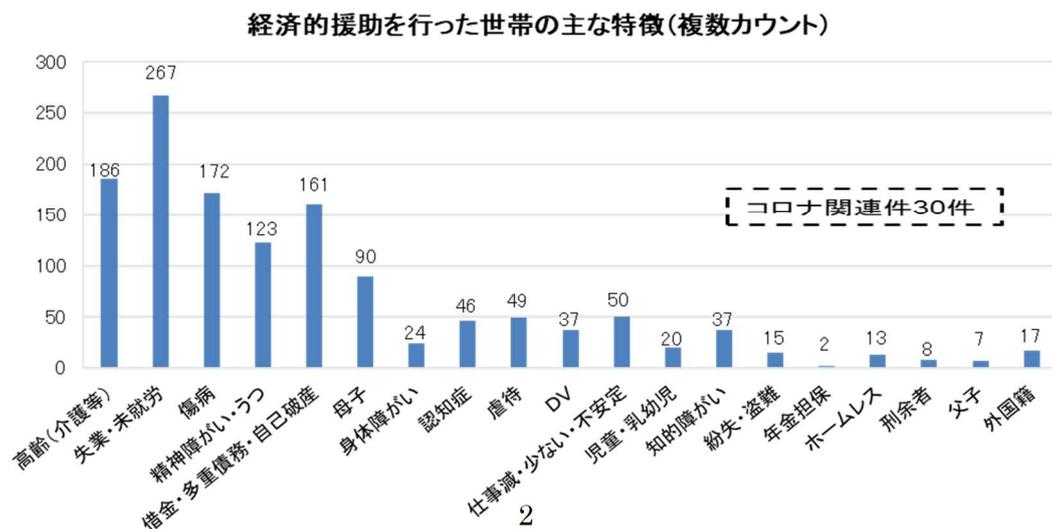
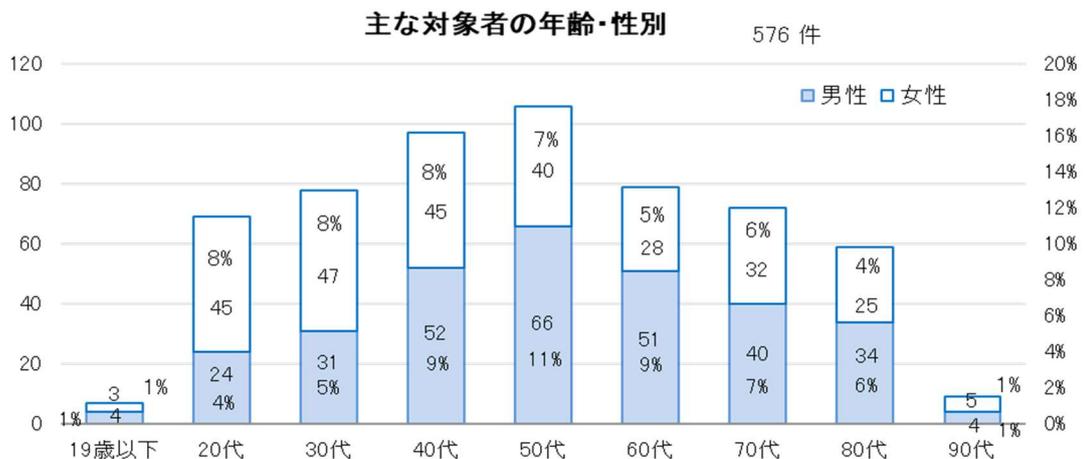
※上記の件数・金額には、再支援ケース12件766,798円を含む

※10万円を超える支援を行った件数は55件（再支援で10万円を超えた件数含む）

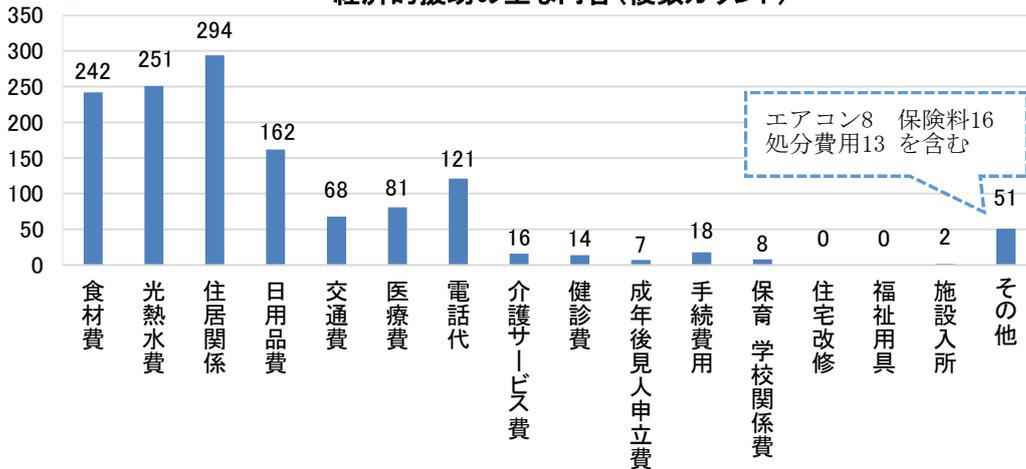
※施設からの残額返金が303件8,852,603円、対象者からの返還が28件633,624円あり、決算における経済的援助金額はこれらを差し引いた38,464,129円となる

## ③「経済的援助（現物給付）」を行った相談支援事例の特徴と傾向

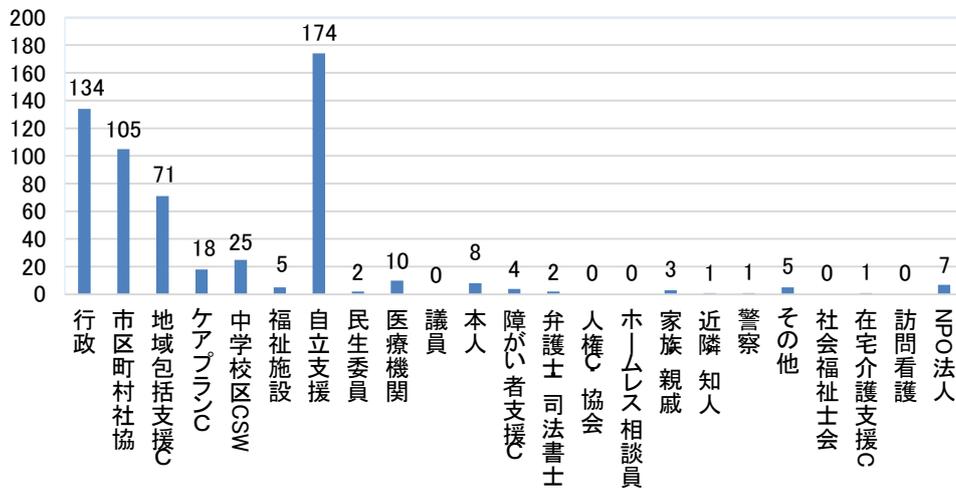
「経済的援助（現物給付）」による支援を行った世帯の主な対象者の年齢は、20～80代と幅広い年齢層となったが、10代への支援件数も増加傾向にあった。世帯の特徴は、「失業・未就労（267件）」が最も多く、相談の紹介経路は「自立支援（174件）」が最も多い。



経済的援助の主な内容(複数カウント)



経済的援助事例の紹介経路



《経済的援助(基金申請)事由による分析》

経済的援助を実施した内容について、平成 28 年度～令和 4 年度の事例傾向分析を行い、報告書を発行。困窮状態にある対象者の家族類型、身体・生活状況、経済状況など項目ごとに分類分けをすることで実態を把握し、相談支援の一助としている。令和 5 年度報告書では、コロナ禍以前(～R1 年度)とコロナ禍(R2～4 年度)に分けた分析を行い、新型コロナがどのような困窮の要因をもたらしたかなどを分析した。

令和 4 年度の特徴：大きくは「コロナ禍」の傾向が継続している。さらに、「孤立」や「虐待」が増加したり、「病気」や「精神障がい」が増加するなど「コロナ禍」の影響が継続・拡大している。一方、「失業」がやや減少するなど、「コロナ禍以降」を思わせる兆候も見られる。

■「コロナ禍以前」と「コロナ禍」の困窮原因の動向：「コロナ禍以前」の「高齢者」を中心とした要援護者が困窮に陥るパターンに、「コロナ禍」による予期せぬ失業などで、突如困窮に陥るパターンが加わり、困窮の実態が複雑化してきている。また「家庭環境」でも「孤立・孤独」が増加している。対処状況も「生活支援」が増加するなど継続的/複合的な支援が必要とされている。

●「経済状態」では「所持金不足」が 7 割弱で最も多い。「コロナ禍以前」と「コロナ禍」を比較すると「携帯料滞納」「未払い・滞納・借金」が大きく増加し、「コロナ禍」で家族や地域からの支援も受けづらい環境にある「単身」も大きく増加した。

●「就業状態」では「コロナ禍」で「失業」「コロナ関連(コロナが直接的に影響した失業や減収等)」が大きく増加した。「コロナ関連」は増加して当然だが、「失業」は予期せぬ困窮状態になる大きな原因となっている。

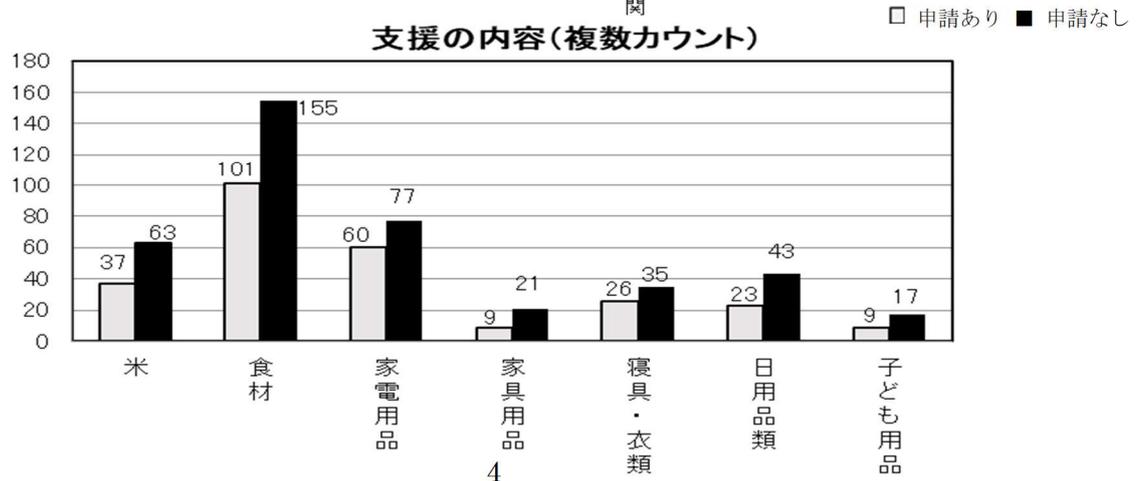
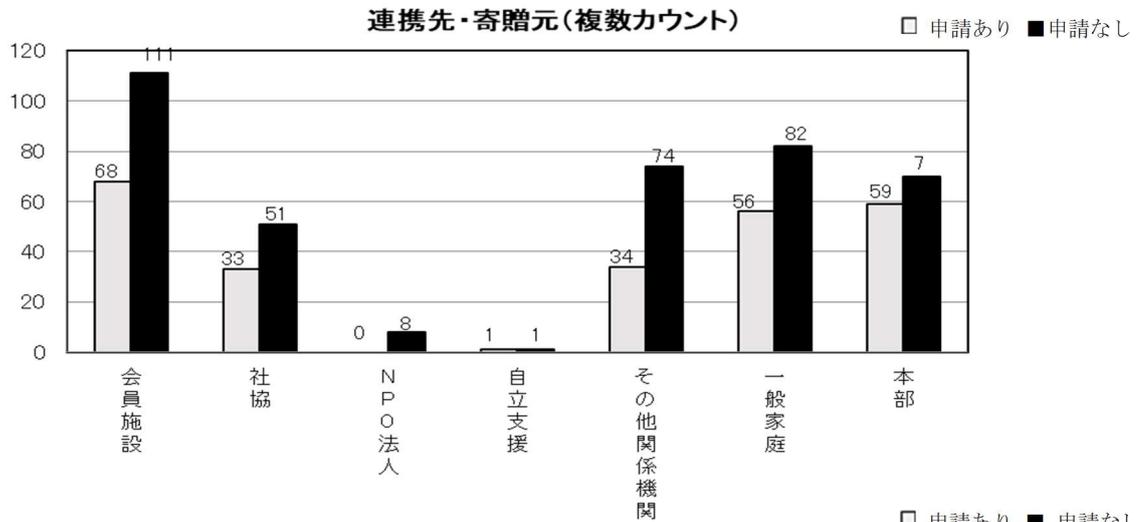
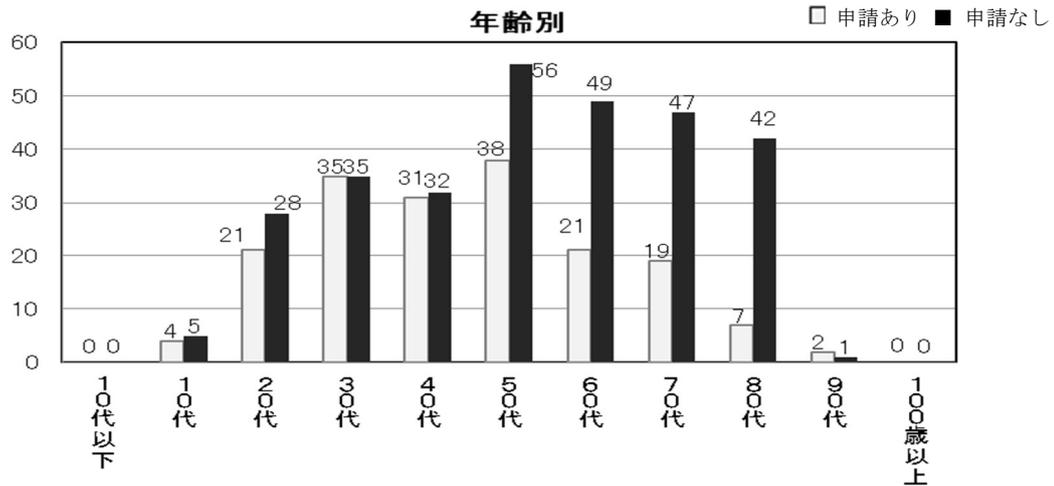
●「住居環境」では、「コロナ禍」で「退去見込み」が大きく増加した。

(令和 5 年度版分析報告書より抜粋)

#### ④寄贈物品・寄贈食材等による支援を行った相談支援事例の特徴と傾向

社会貢献基金を活用した「経済的援助（現物給付）」による支援だけでなく、地域住民や企業、関係団体等から寄付・提供いただいたリユース可能な家電や家具、日用品、食品（米、レトルト食品や缶詰、麺類など）も緊急的な支援が必要な際に活用している。

令和5年度は、寄贈物品・寄贈食材等による支援を、473世帯（807人）に行った。支援を行った世帯のうち、経済的援助（現物給付）による支援もあわせて行ったものは38%（178世帯328人）、経済的援助（現物給付）による支援を行わず、寄贈物品・寄贈食材等による支援のみを行ったものは62%（295世帯479人）であった。



## (2) 社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業の推進

社会福祉法人（施設）で取り組まれている、それぞれの特徴や強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を推進するとともに、本会機関誌や市民向けセミナーを開催し、各施設の実践の“見える化”をはかって、広く情報を発信している。

### ① ふくしおおさか連載記事「頑張っています！社会福祉法人の地域貢献」

No.	発行月	内容
1	春号 (4月)	関係機関との連携による10代の若者への支援 福) あげぼの会 上野ひだまり保育園 (保育)
2	夏号 (7月)	孤立状態にあったひとり暮らし高齢者への緊急支援 福) ひじり福祉会 特別養護老人ホームゆずの郷 (老人)
3	秋号 (11月)	コロナ後の生活再建～孤立・孤独を防ぐ～ 福) 南海福祉事業会 フィオーレ南海 (老人) ワンコイン型の介護予防教室 福) 聖徳会 (老人)
4	新春号 (1月)	住民や関係機関と連携した高齢者への支援と地域貢献実践 児童養護施設 福) 大阪西本願寺 常照園 (児童)

### ② 大阪しあわせネットワーク実践セミナー

『地域のさまざまな課題解決をめざす社会福祉法人の取り組みと社協や地域住民等との協働』

No.	日付	会場	人数	内容
1	06.01.25	あべの ハルカス 25F 会議室	60	<p>《講演》 「地域共生社会の実現に向け、わたしたちにできること」 ふくしと教育の実践研究所 SOLA (Social-Labo) 主宰 新崎 国広 氏</p> <p>《報告》 「池田市の社会福祉法人と社会福祉協議会の協働とネットワークづくり～フードパントリーなど食支援の実践を通じて～」 ・福) 起生会 ほほえみの園 施設長 山田 直輝 氏 西井 美月 氏 ・池田市社会福祉協議会 地域福祉課 貝原 利江 氏 「こども園が実施する様々な世代や世帯にあわせた 居場所づくり」 ・福) 照治福祉会 しまもと里山認定こども園 園長 大谷 智光 氏</p>

### (3) 「社会貢献基金（特別部会費）」の拠出

「大阪しあわせネットワーク」を推進するため、本会施設種別部会の会員施設（社会福祉法人が運営する施設のみ）が拠出する「社会貢献基金（特別部会費）」は、1,096 施設 72.7%（社会福祉法人が運営する会員施設 1,507 施設中）から 136,986,500 円の拠出があった。

< 社会貢献基金の拠出状況（参考） >

【4年度】 1,502 施設中、1,107 施設（73.7%） 139,732,500 円  
【3年度】 1,500 施設中、1,108 施設（73.9%） 138,983,500 円

### 3. 委員会

#### (1) 社会貢献基金運営委員会

事業全般に関する審議、「社会貢献基金」の適正な管理のため、学識経験者、民間団体、各施設種別部会から選出された委員により構成する委員会で審議を行った。

##### ①委員会 2回

No.	日付	会場	人数	内容
1	05.7.12	たかつ ガーデン	15	1. 委員長・副委員長の選出 2. 社会貢献基金の執行状況について ① 令和4年事業報告・決算について ② 令和3～4年度市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業報告 ③ 令和5年度事業進捗について 3. 市区町村域しあわせネットワーク活動支援事業について
2	06.2.14	たかつ ガーデン	15	1. 社会貢献基金の執行状況について ① 令和5年事業進捗・補正予算について ② 社会貢献基金運営委員会検討チームについて ③ 市区町村域しあわせネットワーク活動支援事業について 2. 令和6年事業計画・予算について

##### ②中間報告 1回

No.	日付	会場	人数	内容
1	05.12.27	中間報告 (書面)	—	1. 令和5年度業進捗状況について 2. 市区町村域しあわせネットワーク活動支援事業進捗

#### (2) 社会貢献基金運営委員会 検討チーム

令和7年度を目標に、安定かつ持続可能な事業に向けて、特に地域貢献委員会等の市区町村域での実践との協働や広域調整を担う人材(社会貢献支援員)のあり方について、本委員会の作業部会と位置づけて、施設種別部会4名・市町村社協3名・府社協1名をメンバーに、具体化の検討を行った。

No.	日付	会場	人数	内容
1	05.8.31	大阪社 会福祉 指導セ ンター	8	1. 開会あいさつ・メンバー紹介 2. 検討課題と具体的提案(たたき台)について 3. 今後のすすめ方
2	05.10.26		8	1. 令和7年度以降の具体的提案について
3	05.12.21		6	1. 令和7年度以降の具体的提案について
4	06.3.14		8	1. この間の経過について 2. 令和7年度以降の具体的提案/まとめ案について

### 4. 社会貢献支援員の配置

#### (1) 社会貢献支援員の配置状況(令和6年3月末日時点)

No	担当地域	氏名	駐在先(法人名/施設・事業所)
1	吹田市・豊中市・能勢町・ 豊能町・茨木市	徳田 みどり	吹田市社会福祉協議会施設連絡会 (事務局:吹田市社会福祉協議会)

No	担当地域	氏名	駐在先（法人名/施設・事業所）
2	池田市・箕面市・高槻市 島本町・摂津市 (北ブロック担当)	上杉 憲司	(福) みどりヶ丘会 グリーン特別養護老人ホーム
3	寝屋川市・枚方市・交野市	松本 保彦	(福) 聖徳園 特別養護老人ホームひらかた聖徳園
4	四條畷市・大東市・守口市・ 門真市	北村 優子	(福) 大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム四條畷荘
5	東大阪市	湯村 丈司	(福) 由寿会 特別養護老人ホームアーバンケア稲田
6	八尾市・柏原市・松原市・ 藤井寺市・羽曳野市 (河内ブロック担当)	下永田 智子	柏原市民間社会福祉施設連絡会 (事務局: 柏原市社会福祉協議会)
7	河内長野市・大阪狭山市・ 富田林市・太子町・河南町・ 千早赤阪村	岸上 由美子	河内長野市社会福祉施設連絡会 (事務局: 河内長野市社会福祉協議会)
8	大阪市(淀川区・西淀川区・ 北区・福島区・此花区・西 区・中央区)	井田 堤子	(福) 亀望会 特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑
9	大阪市(天王寺区・東成区・ 生野区・西成区・浪速区)	川崎 博之	(福) 久栄会 特別養護老人ホームインパレスみのり苑
10	大阪市(鶴見区・城東区・ 都島区・旭区・東淀川区)	堀井 義元	(福) 治栄会 軽費老人ホーム ラフォーレからまつ
11	大阪市(平野区・住吉 区・住之江区・東住吉 区・阿倍野区・大正区・ 港区) (大阪市ブロック担当)	上村 英	(福) 央福祉会 特別養護老人ホーム ウェルネスあびこ (福) みおつくし福祉会 母子生活支援施設 南さくら園 (福) みなと寮 救護施設 こうせいみなと
12	堺市	三井 環	(福) 白水福祉会 子育てひろば みはら
13	泉州(貝塚市・泉佐野市・ 泉南市・阪南市・熊取町・ 田尻町・岬町)	栗坂 英子	(福) 幸楽会 すえひろこども園
14	泉州(泉大津市・高石市・ 和泉市・岸和田市・忠岡町) (南ブロック担当)	末包 ミカ	(福) 豊中福祉会 特別養護老人ホームローズガーデン条南苑
15	府内全域	佃 今日子	本部(大阪府社協社会貢献推進室)

## (2) 社会貢献支援員全体会議

No.	日付	会場	内容
1	05.4.3	大阪社会福祉 指導センター	令和5年度事業計画について 全体事業進捗共有・エリア会議
2	05.5.12	大阪社会福祉 指導センター	全体事業進捗共有・エリア会議
3	05.6.7	大阪社会福祉 指導センター	全体事業進捗共有・エリア会議
4	05.8.4	大阪社会福祉 指導センター	全体事業進捗共有・エリア会議

No.	日付	会場	内容
5	05. 9. 1	大阪社会福祉指導センター	全体事業進捗共有・エリア会議
6	05. 10. 6	大阪社会福祉指導センター	全体事業進捗共有・エリア会議
7	05. 11. 10	大阪社会福祉指導センター	全体事業進捗共有・エリア会議
8	05. 12. 2	大阪社会福祉指導センター	研修（在留外国人支援について）※生活困窮者支援グループと合同 全体事業進捗共有・エリア会議
9	06. 1. 5	大阪府社会福祉会館	全体事業進捗共有・エリア会議
10	06. 2. 2	大阪社会福祉指導センター	研修（交通安全講習会）※生活困窮者支援グループと合同 全体事業進捗共有・エリア会議
11	06. 3. 1	大阪社会福祉指導センター	全体事業進捗共有・エリア会議

### （３）社会貢献支援員の役割強化

#### 本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会等への参加

社会貢献支援員のスキルアップをはかるため、本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会・セミナー等に参加し、教育・研修の機会とした。

### （４）社会貢献支援員による施設への訪問や、地域貢献委員会（施設連絡会）との連携支援

- ・新規参画施設への訪問件数：319件
- ・施設が実施する地域貢献事業を把握や参加、連携をした件数：684件
- ・地域貢献委員会（施設連絡会）やCSW連絡会等との連携や調整をした件数：1095件

## 5. 研修会・セミナーについて

### （１）コミュニティソーシャルワーカー養成研修会（前期）

No.	日付	会場	人数	内容
1	05. 06. 09	国民會館大阪城ビル 1 2 F 大ホール	48	① 今なぜ社会福祉法人に地域貢献が求められているのか 社会福祉法人 八尾隣保館 理事長 荒井 恵一 （大阪府社会福祉協議会 社会貢献基金運営委員会委員） ② 大阪府社協・各施設種別部会がすすめる 「大阪しあわせネットワーク」について 大阪府社協 社会貢献推進室 ③ 総合生活相談（生活困窮者レスキュー事業）の すすめ方と支援システムについて 大阪府社協 社会貢献推進室 ④ 社会福祉協議会の活動と社協×施設の地域貢献 大阪府社協 地域福祉部 ⑤ 生活困窮者自立支援制度について 大阪府社協 地域福祉部 ⑥ 生活福祉資金について 大阪府社協 生活支援部

No.	日付	会場	人数	内容
2	05.06.21	大阪府 社会福 祉会館 4 F 4 01	50	① 《実践報告》保育園・認定こども園が実施する スマイルサポーター事業や地域貢献について 社会福祉法人 たこう福祉会 汐の宮こども園(保育部会) 副園長 久保 佳世子 氏 ②社会保障制度・生活保護～医療サービス～ 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏 ③相談支援において忘れてはいけない 尊厳と倫理、人権の視点 一般社団法人メンタルさぼーたーず Labo 代表理事 澤井 登志 氏
3	05.07.07	国民會 館大阪 城ビル 1 2 F 大ホー ル	48	コミュニティソーシャルワークについて 《講義・実践報告》 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 川島 ゆり子 氏 社会福祉法人 萌健会 ケアハウスレインボー (老人施設部会) CSW 光成 信也 氏

## (2) コミュニティソーシャルワーカー養成研修会 (後期)

No.	日付	会場	人数	内容
1	05.11.14	オンラ イン開 催	30	① 今なぜ社会福祉法人に地域貢献が求められているのか 社会福祉法人 八尾隣保館 理事長 荒井 恵一 (大阪府社会福祉協議会 社会貢献基金運営委員会委員) ② 大阪府社協・各施設種別部会がすすめる 「大阪しあわせネットワーク」について 大阪府社協 社会貢献推進室 ③ 総合生活相談(生活困窮者レスキュー事業)の すすめ方と支援システムについて 大阪府社協 社会貢献推進室 ④ 社会福祉協議会の活動と社協×施設の地域貢献 大阪府社協 地域福祉部 ⑤ 生活困窮者自立支援制度について 大阪府社協 地域福祉部 ⑥ 生活福祉資金について 大阪府社協 生活支援部
2	05.11.24	オンラ イン開 催	29	コミュニティソーシャルワークについて 《講義・実践報告》 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 川島 ゆり子 氏 社会福祉法人 飛鳥保育会 あすか保育園 (保育部会) 主幹保育教諭 福喜多 直美 氏

No.	日付	会場	人数	内容
3	05.12.07	オンライン開催	26	<p>①&lt;&lt;実践報告&gt;&gt;医療施設が取り組む 地域貢献の実践について 社会福祉法人 寺田萬寿会 寺田萬寿会病院（医療部会） MSW 室長 山本 淳子 氏</p> <p>② 社会保障制度・生活保護～医療サービス～ 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏</p> <p>③ 相談支援において忘れてはいけない 尊厳と倫理、人権の視点 一般社団法人メンタルさぽーたーず Labo 代表理事 澤井 登志 氏</p>

【参考】コミュニティソーシャルワーカー養成研修会修了者数（平成16～令和5年度）

合計 2,591人

(3) CSWマイスター研修会 ※大阪府知事認定研修会

No.	日付	会場	人数	内容
1	05.11.07	TKP ガーデン シティ大阪 リバーサイ ドホテル	18	<p>①大阪府の施策・制度説明（包括的支援体制の構築 に向けた社会福祉法人等との協働について） 大阪府 地域福祉課</p> <p>②地域共生社会におけるコミュニティ ソーシャルワーカーの役割について ～自ら声をあげることが難しい方への相談支援～ 《講義・実践報告・演習》 公益財団法人 テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏</p> <p>《報告》 「地域住民や関係機関とともに地域のさまざまな な相談を取りこぼさず支援する仕組み」 社会福祉法人 秀幸福社会 いきいきネット相談支援センターエルダー CSWマイスター 神野 享士 氏 「コロナ特例貸付フォローアップ支援からみる アウトリーチ型の相談支援の取組み」 能勢町社会福祉協議会 地域福祉推進係 東 亮一 氏</p>

No.	日付	会場	人数	内容
2	05.11.08	TKP ガーデン シティ大阪 リバーサイ ドホテル	18	地域共生社会におけるコミュニティ ソーシャルワーカーの役割について ～住民・施設・社協・企業等との協働を目指して～ 《講義・実践報告・演習》 公益財団法人 テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏 《報告》 「専門職や地域住民と協働した UR 総持寺団地の コミュニティ再活性化の取組み」 社会福祉法人 秀幸福祉会 いきいきネット相談支援センターエルダー CSW マイスター 神野 享士 氏 茨木市社会福祉協議会 地域福祉課 佐藤 遼 氏

【参考】CSWマイスター研修会 修了者数（平成25～令和5年度） 合計 283人

#### （4）CSWマイスター現任研修会

No.	日付	会場	人数	内容
1	05.12.04	AP 大阪淀屋 橋 4F 北 B	28	《講義》 地域生活支援におけるネットワークの 「これまで」と「これから」を考える 福井県立大学 看護福祉学部 教授 奥西 栄介 氏 《制度・施策説明》 大阪府におけるヤングケアラー支援の取組みについて 大阪府 福祉部 地域福祉推進室 地域福祉課 植松 康恵 氏 《報告》 施設と社協が協働した支援事例と 守口市のCSW連絡会の取組みについて 社会福祉法人 佐太善友会 特別養護老人ホーム 梅香苑 CSW 関戸 朋子 氏 守口市社会福祉協議会生活支援グループ CSW 近藤 和明 氏

(5) CSW・スマイルサポーター事例報告会（相談援助技術研修会）

No.	日付	会場	人数	内容
1	05.07.25	国民會館大 阪城ビル 12F ホール	46	「一時保護入所を望まない母子世帯への支援事例」 梅花女子大学 こども学科 教授 井元 真澄 氏 《報告者》社会福祉法人 青山会(成人施設部会) CSW 近藤 健一郎 氏
2	05.08.24	オンライン 開催	41	「急な体調不良による収入減少のため 困窮した世帯への支援」 大阪城南女子短期大学 ALO兼IR部長 前田 崇博 氏 《報告者》 社会福祉法人 大協会 ハートフルふしお(老人施設部会) CSW 和田 健次郎氏
3	05.12.19	ツイン 21 MID ｸｰﾙ 20 階 8 会議 室	21	「施設同士の支援のネットワークづくりと ICTを活用した物品提供の支援相談」 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 西垣 千春 氏 《報告者》社会福祉法人 帝塚山福祉会 唐国園(老人施設部会) CSW 北田 諭史 氏 社会福祉法人 芳春会 ビオラ和泉(老人施設部会) CSW 井口 真吾 氏
4	06.01.18	大阪府社会 福祉会館 5F 503	27	「社会福祉法人の公益的な取り組みから、 地域支援と個別支援を考える」 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 川島 ゆり子 氏 《報告者》社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団 みずほおおぞら(老人施設部会) 神谷 俊貴 氏・東 大貴 氏

(6) 大阪しあわせネットワーク実践セミナー ※再掲5頁参照

6. 大阪しあわせネットワークの推進にかかる各種取り組み

(1) 「大阪しあわせネットワーク支援システム」の運用

事業に参画する社会福祉法人（福祉施設）間における情報共有や、相談支援実績や様々な地域貢献実践を集約する「大阪しあわせネットワーク支援システム（<https://osaka-soudan.jp/>）」を運用している。

また、支援システムを通じ特徴的な支援事例を定期的に発信し、令和5年度は「複合課題を抱える高齢世帯への支援」等48事例（概要）を紹介している



## (2) 「大阪しあわせネットワークポータルサイト」の公開

「大阪しあわせネットワーク」による社会福祉法人の地域貢献実践を“見える化”するため、インターネットを通じた情報発信を行う「大阪しあわせネットワークポータルサイト（<https://www.osaka-shiawase.jp>）」を公開している。また、フェイスブックとも連携した情報発信を行っている。



- ① 地域貢献事業の登録施設 1459 事業 558 法人 (941 施設)
- ② CSW・スマイルサポーター登録施設 452 法人 (692 施設) ※令和6年4月現在

## (3) ICT化の推進／相談支援アプリの運用・周知

相談支援記録の標準化や業務の省力化などから、より良い事業の推進と事業全体の活性化をめざし「大阪しあわせネットワーク支援システム」と連動し、タブレットやスマートフォン等の端末から相談支援記録を可能としたアプリケーションを運用。

また、会員施設への更なる活用と周知を目的とした説明会を実施 (23名参加)



- ① アプリ版を閲覧した「延べ人数」 136 ユーザー
- ② アプリを使い「入力等の作業された回数」 759 回 ※令和6年4月現在

## (4) ICT化の推進／社福法人の公益的な取り組みの発信

- ・支援システムとポータルサイトを活用し、各法人・施設の地域貢献事業(公益的な取り組み)のタイムリーな情報を掲載。特にポータルサイトにて、登録された食堂や園庭開放などのイベント情報について広く一般にも周知できることとなった。(83 事業登録)
- ・「大阪しあわせネットワーク支援システム」地域貢献委員会の参画 府内 38 市町村の地域貢献委員会(施設連絡会)についても、支援システム支援に参画し、ポータルサイトより発信できる仕組みを導入した。

## (5) ブロック担当(社会貢献支援員)による地域支援

大阪府内にブロック担当 4 名を配置し地域支援を実施。圏域や施設種別を超えた相談支援体制づくりや広域連携を深める関係づくりをめざし、地域貢献委員会(施設連絡会)との連携支援や、関係機関とのネットワークづくり、事業の啓発・広報などを行った。

また、大阪市ブロックにおいては、事業周知の一環として「ブロック NEWS」を年 2 回発行し、会員施設情報や地域貢献事業等について、関係機関や施設等に紹介した。

## (6) 事業運営の透明性を確保するための取り組み

大阪しあわせネットワーク事業を推進するうえで、各法人・施設に必要となる、運営の透明性を確保するため、主に総合生活相談(生活困窮者レスキュー事業)に関して、定款変更や会計の基本的な考え方を周知啓発する。1月に「会計処理に関するお願い」(通知文)にて周知。

## 7. 法人後見専門職員養成 (権利擁護推進室)

社会福祉法人の地域における公益的な取組として、法人後見専門職員の養成を開催。(年1回)

◎令和5年度

参加者 17名 (14法人 部会内訳:老人10、成人1、セルフ1、児童1、経営協1)

◎法人後見人としての活動状況 受任1件

◎新たに修了者を対象としたフォローアップ研修(活動報告等)を開催し、13名が参加した。

## 8. 各施設種別部会との連携について

各施設種別部会における社会貢献・地域貢献の推進にかかわる取り組みと連携し、部会、役員会における各種報告、研修会、各種事業における連携・協働を行った。

- ◎老人施設部会 ・ 常任委員会および各ブロック会議での状況報告  
・ 社会貢献事業推進委員会で今後のあり方等に関する意見交換を実施
- ◎母子施設部会 ・ 社会貢献支援員との意見交換会
- ◎医療部会 ・ 部会会員施設向け研修会および意見交換を実施

### <各施設種別部会における社会貢献・地域貢献に関する主な取り組み>

- ◎経営者部会 ・ 地域貢献委員会代表者会議 (令和5年9月13日)  
地域貢献委員会の代表者と市町村社会福祉協議会事務局長等を対象に、大阪府社協、市町村社協連合会と共催で開催。  
参加者: 合計49名 (施設19名、市町村社協30名)
- ◎老人施設部会 ・ 社会貢献事業(生活困窮者レスキュー事業)20周年記念の取組
- ◎保育部会 ・ スマイルサポーター養成研修  
・ スマイルサポーターフォローアップ研修

## 9. 「コミュニティソーシャルワーカー・スマイルサポーター連絡会」の開催支援

社会福祉法人のコミュニティソーシャルワーカーやスマイルサポーター等の情報交換・連携促進を目的として、府内各市区町村で「コミュニティソーシャルワーカー・スマイルサポーター連絡会」等下記のとおり開催した。また、基幹的役割を担う専門職同士のネットワーク構築に向け、CSWマイスター等を対象とした連絡会を開催。

- <開催状況> ・ 大阪府内(政令市除く) 41市町村中 16市町村(書面開催1、合同開催1)
- ・ 大阪市内 24区中6区(その他CSWマイスター等連絡会、  
24区合同連絡会を開催)
  - ・ 堺市内 7区中7区(その他7区合同連絡会を開催)

## 10. 寄付の受け入れ 4回

No.	日付	寄付者	寄付内容
1	05.6.20	特定非営利活動法人 高齢者 財産管理サポートまもるくん	100,000 円
2	05.10.6	有限会社 ナカイ	商品券 10,000 円
3	06.1.12	宗教法人 四天王寺	白米 103 キロ、玄米 75 キロ
4	06.2.29	グリーン大阪農業協同組合	玄米 60 キロ

### 11. 「大阪しあわせネットワーク」と地域貢献委員会との連携強化

#### (1) 大阪しあわせネットワーク「市区町村域しあわせネットワーク活動支援事業」

「大阪しあわせネットワーク」の事業を推進するうえで、市区町村域での実践においても重要となる、先駆的・開発的テーマ(総合相談や物品支援の仕組み、福祉・生活課題に対する支援等)を設定。テーマに沿った地域貢献委員会等の市区町村域での社協と施設の種別を横断して取り組む事業に対して助成を行い、ネットワークの強化を図るものとして実施。

- ① 対象：市区町村単位で活動を展開する地域貢献委員会（施設連絡会）等
- ② 実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ③ 事業決定：11市（堺市、吹田市、高槻市、枚方市、大東市、寝屋川市、四條畷市、八尾市、河内長野市、藤井寺市、羽曳野市）
- ④ 活動助成決定額：合計2,000,000円

#### (2) 地域貢献委員会代表者会議（経営者部会） ※再掲14頁参照

#### (3) 地域貢献委員会担当者情報交換会（地域福祉部・地域組織担当者会議）

市町村社協の地域貢献委員会（施設連絡会）担当職員、地域貢献委員会等の会員施設の職員（実務者）を対象に令和6年2月5日にオンライン（Zoom）で開催。

・参加者：38名（施設6名、市町村社協32名）

#### (4) ICT化の推進

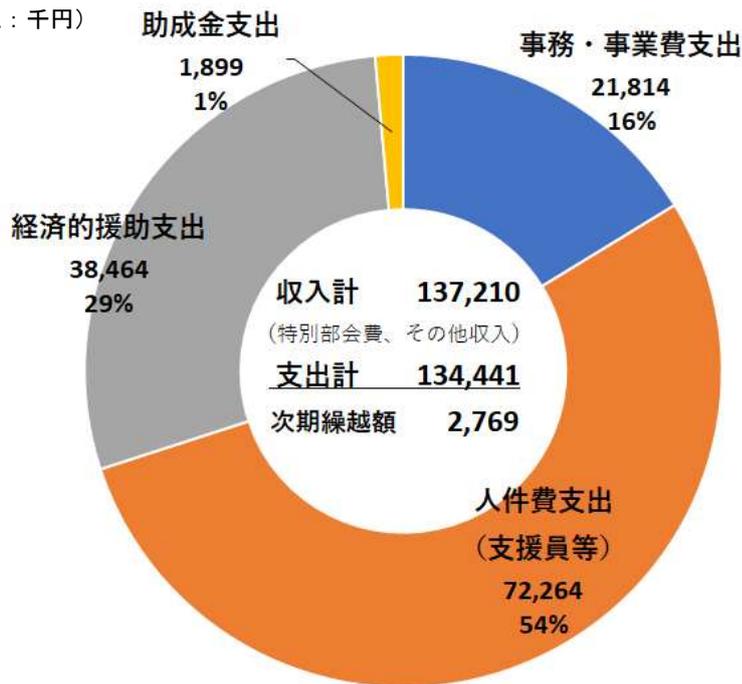
「大阪しあわせネットワーク支援システム」地域貢献委員会の参画 ※再掲13頁参照

12. 令和5年度決算概要

※令和6年4月26日時点の見込みに基づくもの

令和5年度における大阪しあわせネットワークにかかる財務については、大阪府社会福祉協議会にて処理を行い、令和6年6月開催予定の大阪府社会福祉協議会定時評議員会において議決を行う予定であるが、令和6年4月26日時点における決算見込みに基づく、決算概要については下記のとおりである。

※支出内訳  
(単位：千円)



※令和5年度当初の社会貢献基金額は305,147千円であり、上記の次期繰越額2,769千円を足した307,916千円が令和5年度末時点における社会貢献基金額となる。

※経済的援助支出については、総支援件数576件47,950千円から、施設からの残額返金303件8,853千円、対象者からの返還金28件633千円を差し引いた38,464千円となる。

～ 本件に関するお問い合わせ ～  
 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会  
 施設福祉部 社会貢献推進室  
 電話 (06) 6762-9488 FAX (06) 6762-9472